

日本ユニシスグループ
CSR 報告書 2010







3

スペシャル・メッセージ

バドミントンを通じて、多くの人たちに「楽しさ」や「感動」を伝えたい

——— 日本ユニシス実業団バドミントン部 池田 信太郎／潮田 玲子



7

お客さまとともに

事業活動を通じたCSR

独立行政法人 日本スポーツ振興センター様とともに

官民一体で軌道に乗せた「スポーツ振興くじtoto事業」

——— 流通第二事業部 ビジネス開発部 横川 愛



11

お客さまとともに

事業活動を通じたCSR

株式会社 紀陽銀行様とともに

次世代オープン勘定系システム「BankVision®」の導入

——— 金融システム本部 S-BITS OSセンター 開発支援P 長 岩井 浩一



15

お客さまとともに

事業活動を通じたCSR

ICTサービスを通じて、加速する「教育の情報化」推進に貢献したい

SaaS型教育プラットフォームの構築

——— ICTサービス本部 ラーニングサービスセンター スペシャリスト 白井 賢一



19

お客さまとともに

企業の枠を越えた人材育成の場

ユニシス研究会を通じた価値提供

——— 製造流通システム本部 中部サービス統括P 鈴木 久美子



21

事業継続への取り組み

2009年、新型インフルエンザ感染拡大時の対応を振り返って

ICT事業者としての事業継続

——— 金融企画部 営業推進室 室長 市村 修敬



23

社員・家族とともに

社員が安心して、いきいきと働き続けられる会社 ～社員座談会～



27

社員・家族とともに

地球環境のために

ICT活用によるワークスタイル変革



29

地球環境のために

事業活動を通じたCSR

グリーンデータセンターの“リファレンスモデル”構築をめざして

クラウドコンピューティングが支える企業の省電力活動

——— ICTサービス本部 基盤サービス部 部長 廣田 博美



31

地球環境のために

事業活動を通じたCSR

社会のあり方を変えられるような仕組みを作りたい

電気自動車充電インフラシステムサービス「smart oasis®」の開発・展開

——— エネルギー事業部 営業三部 次世代ビジネスグループ 鈴木 康史



33

地域・社会とともに

情報化社会における子どもたちの“安心”に貢献したい

「e-ネットキャラバン」への社員ボランティア派遣

——— システムサービス推進部 システムサービス企画室 樋口 洋子

| | |
|----|----------------------|
| 35 | 会社概要 日本ユニシスグループについて |
| 36 | トピックス 「夏休み子ども参観日」の開催 |
| 37 | 社長メッセージ |
| 39 | 第三者コメント |

| | |
|----|--------------------------|
| 40 | 昨年の報告書(CSR報告書2009)に対する評価 |
| 41 | 日本ユニシスグループのCSR活動 |
| 42 | 用語解説 |

編集方針

本報告書においては「読みやすい、わかりやすい、読んでみたい」を編集方針とし、多くのステークホルダーのみなさまに読んでいただける報告書を目標に編集しています。具体的には2009年版までと同じく、データや文章の解析ソフトウェアである当社の「MiningPro21[®](マイニングプロ21)」を使用し、より平易な文章の目安として、中学3年生の教科書で使用されている語句の使用率を80%以上とすることを目標としています(2010年版の使用率は約82%)。また、専門的な用語については、巻末折り返しの「用語解説」(P.42)で用語の意味を掲載しています。

今回の報告書では、**ステークホルダーのみなさまに、より「共感」いただける内容をめざしたいとの観点から、日本ユニシスグループCSR活動の各分野の取り組みについて、社員へのインタビュー記事を中心に「人」の目線から紹介**してあります。また、「CSRリレートーク(P.7～34)」コーナーにおいては、CSR活動の主体であるグループ各社社員の声をリレー形式で掲載しています。

報告書概要

対象期間

本報告書は、原則として2009年度(2009年4月～2010年3月)の日本ユニシスグループのCSR活動について記載していますが、過年度の活動や2010年度以降の状況についても必要に応じて掲載しています。

対象読者

お客さま、株主・投資家、社員をはじめ、取引先、地域社会、NPO法人、教育機関など、日本ユニシスグループの幅広いステークホルダーの方々を想定しています。

対象範囲

日本ユニシスおよび日本ユニシスグループ会社(計27社[※])を対象として記載しています。

次回発行予定年月

次回の発行は2011年7月を予定しています。

※詳細は、P.35をご参照ください。

報告書に関するお問合せ先

日本ユニシス株式会社 CSR推進部
〒135-8560 東京都江東区豊洲1-1-1
TEL 03-5546-4111(大代表)

(Webサイト:P.41ご参照)

 <http://www.unisys.co.jp/csr/>
「CSRお問合せ」をご利用ください。

表紙と最初の見開きページについて

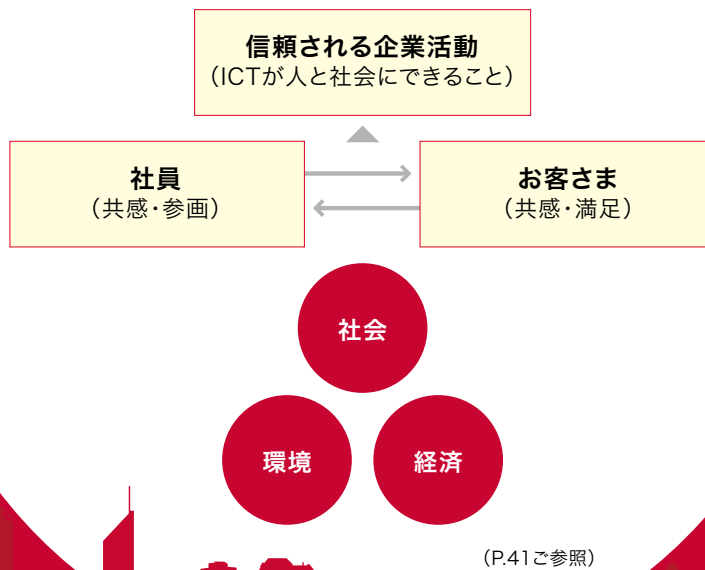


表紙と最初の見開きページの人物写真は、日本ユニシスグループの2010年度新入社員です。2010年4月、総勢216名のフレッシュマンが日本ユニシスグループの一員となりました。日本ユニシスグループはこれからも、未来を担う「若い力」が大きく成長し続けていけるような企業でありたいと願っています。

ICTが人と社会にできること

インターネットや携帯電話が普及した現代社会において、
「ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術)」は、
日々の生活に欠かせない社会基盤となってきています。
日本ユニシスグループは、CSR活動のスローガンとして「ICTが人と社会にできること」を掲げ、
事業活動を通じたさまざまな形での情報化社会への貢献をめざしてだけでなく、
地域・社会や地球環境に向けた取り組みにおいても
ICT企業としての特徴を活かした活動を推進しています。

日本ユニシスグループのCSR推進コンセプト



巻頭の折り返し部分に「目次」、巻末の折り返し部分 (P.42) に「用語解説」を掲載しております。

● 便利な活用法

「目次」と「用語解説」の各ページを開いたまま、他のページをお読みいただくことができます。ご活用ください。

